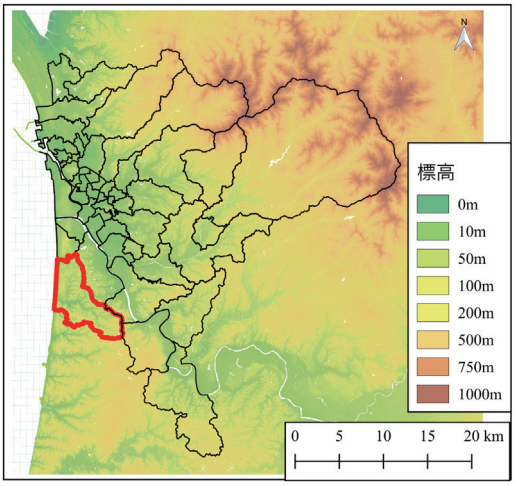
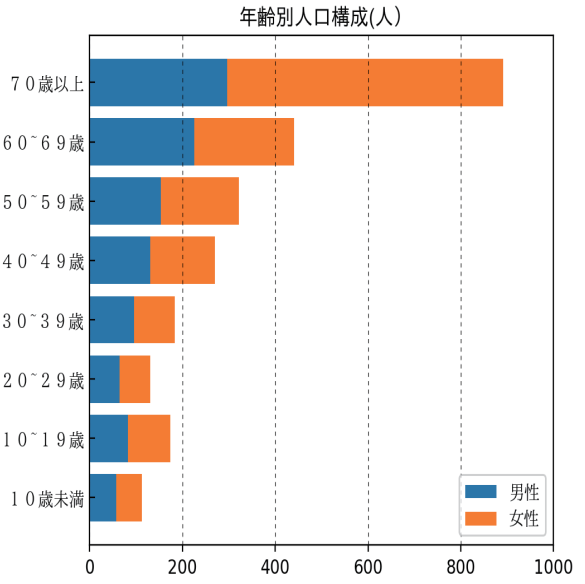
39：下浜小学校

位置図



1　居住者の現況

人口	2,559 人
世帯数	820 世帯
65 歳以上人口	1,149 人
10 歳未満人口	111 人



平成 28 年 10 月 1 日現在

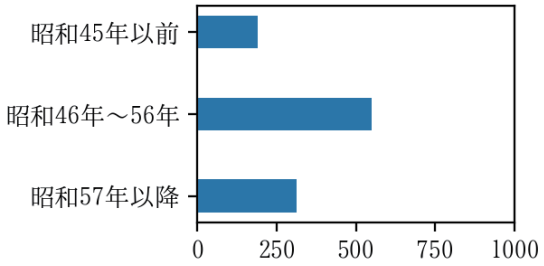
2　建物に関する指標

■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	1055
非木造建物	53

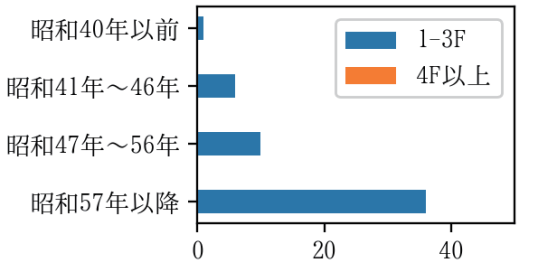
■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	313
昭和46年～56年	551
昭和45年以前	191



■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	36	0
昭和47年～56年	10	0
昭和41年～46年	6	0
昭和40年以前	1	0



平成 22 年 8 月現在

自然的・社会的基本指標

秋田市の南西部沿岸域に位置している。砂丘の発達した沿岸部を除き丘陵～山地地形となっている。沿岸部および鮎川上流部に急傾斜地等の危険区域が分布する。砂丘部と丘陵部の間に国道 7 号線、JR 羽越線がほぼ南北に通っており、この国道に沿って集落が延びる。さらに南部の鮎川が作る谷底平野にも県道に沿って集落が分布している。人口構成は、高年齢者層ほど構成比が高く、65 歳以上人口の割合が 42% と秋田市の平均と比較してかなり高くなっている。建築物はその多くが木造建築物であり、昭和 56 年以前の建築が全体の 68% を占める。

3　自然災害に関する指標（平成 29 年 3 月現在）

■　洪水

	指定河川	（該当なし）		
	浸水面積 (%)			
	最大浸水深 (m)			

■　土砂災害

* 土砂災害危険箇所

	種別	箇所数	主な指定箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所	5	境川、下浜深山、下川原、小金山、大田
	土石流危険渓流	41	じゅうじ沢、名ケ沢、下川原沢、浜田沢、長浜沢、下浜沢、入道沢沢、兵家敷沢 他
	地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
	なだれ危険箇所	6	ヨモキ田　他

* 土砂災害警戒区域

	種別	箇所数	主な指定箇所
	土砂災害警戒区域	0	該当箇所なし
	うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

■　地震および津波

* 地震（どこにでも起こりうる直下の地震：M6.9 ）

	平均震度	震度 6 弱	
	（計測震度）	（5.70）	
	震度 6 強以上となる面積（%）	0	
	液状化危険度ランク	3	
	建物全壊率（%）	1.1	

* 津波（秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合）

	浸水面積（%）	2.2	
	最大浸水深（m）	13.9	

4　災害時要配慮者に関する指標（平成 29 年 3 月現在）

■　要支援者関連施設（収容施設のみ）

	種別	施設数
	高齢者支援	0
	婦人幼児支援	0
	障がい者等支援	0

■　幼稚園・保育所等

	種別	施設数
	保育所等	1
	こども園	0
	幼稚園	0

■　学童支援施設

	種別	施設数
	児童館等	1

■　学校等

	種別	施設数
	小学校	1
	中学校	1
	高等学校	0
	大学・短大・高専	0
	養護学校等	0

5　防火・防災施設に関する指標（平成 29 年 3 月現在）

■　消防関連施設

	消火栓数（箇所）	36
	防火水槽（箇所）	12
	消防車台数（台）	11
	消防ポンプ数（台）	3
	消防団員数（人）	75

■　避難所／避難場所（別表参照）

	災害種別	施設数
	洪水	5
	土砂災害	5
	地震	5
	津波	9
	福祉避難所	0
	津波避難ビル	0
	津波警報サイレン	2

■　救急・防災関連施設

	種別	名称／箇所数
	管轄消防署	秋田消防署
	管轄警察署	秋田中央警察署
	病院･医院数（歯科を除く）	1
	最寄りの救急告示病院	市立秋田総合病院
	自主防災組織数	8

自然災害時の危険要素

河川の氾濫による浸水の危険性は想定されていないが、鮭川やその支川では突発的な集中豪雨などにより氾濫する可能性は否定できない。

土砂災害の危険性は、平地部に隣接する丘陵部に多く指摘されているものの、警戒区域等警戒区域等の指定はない。

地震動としては、学校区全域でほぼ同様の揺れやすさとなっている。液状化の危険性はやや高い。津波による浸水は、沿岸の砂丘部に想定されているが、集落に及ぶ危険性は低いとされている。

防災上の課題と対策

下浜小学校区は、国道 7 号線に沿った沿岸の集落と鮎川沿いの中山間集落からなっている。国道 7 号線は緊急輸送道路であり、代替道路はない。

沿岸集落では、1983 年日本海中部地震の際の津波では浸水被害は生じていないものの、日本海の海域で大地震が発生した場合には相当の津波が発生するおそれがあることを住民が常に認識していることが重要である。

鮎川沿いの集落では、土砂災害およびなだれの危険性が高いとされている。

人口は漸減傾向にある。人口構成は若年層ほど少なく、65 歳以上の高齢者層の構成比率が非常に高い。

集落によっては、指定避難所や緊急時一時避難場所までの距離が長い集落もあり、災害時に迅速に避難を行うために、

災害時の情報連絡体制の確立と、集落単位の一時避難・救援救護の協力方法などを検討しておく必要がある。平時の防災訓練を有効に活用することが望まれる。
市の中央部から遠隔であることと、学校区内の医療機関が1箇所であることから、臨時離発着場（ヘリポート）の指定などを検討することも有効と考えられる。

■　避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ / 土石流	地震	津波	大規模火災	
下浜小学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	252 人
下浜中学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	235 人
下浜小・中学校グラウンド	x	○	○	○	○	x	津波 5,180 人 津波以外 2,590 人
下浜地区 コミュニティセンター	○	○	○	○	x	x	66 人
桂根グラウンドゴルフ場	x	x	x	x	○	x	14,000 人
珠林寺　墓地駐車場	x	x	x	x	○	x	750 人
八幡神社境内	x	x	x	x	○	x	900 人
コスモ工機株式会社 秋田工場敷地	x	x	x	x	○	x	3,900 人
下浜工業団地緑地	x	○	○	○	○	x	津波 830 人 津波以外 415 人
長浜地区運動公園	x	x	x	x	○	x	3,500 人
下浜旧ゲートボール場	x	x	x	x	○	x	3,830 人
羽川岩城地区周辺山林	x	x	x	x	○	x	1,000 人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
（該当なし）		

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
（該当なし）			

津波警報サイレン

施設	所在地
下浜長浜	下浜長浜字荒郷屋 61 番地
下浜羽川	下浜羽川字二十町 79 番地